

高付加価値シフトが進展



白石泰章社長

わが国で初めて海外稼取取組の製造・国産化に成功した境界バイオニア企業のシプロ化成（福井県坂井市、白石泰章代表）

取締役社長）が、次の事業成長へ向けた取組みを踏まえと進めている。主力となる海外稼取取組、難化防虫剤、防錆剤の3製品は「新製品」を軸に高付加価値な製品への相対的なシフト（白石社長）を積極的に進め、3製品全体のうち約30%が独自性の高い高付加価値な製品へシフトが進んだ。今後も既存製品でボート・フォリオ転換を急がせていく。一方、受託製造事業も今年比で3倍前後の案件増となり、特殊対応品を含め、滅菌乾燥装置や高機能半導体産業の高純度シールドにも対応する受託反応槽、PFO（パーフルオロ）の製造対応などで受託事業のすそ野も広がる。



新たに整備導入した太陽光発電パネル

海外・事業展開に

受託案件の拡大に拍車

注力する。同時に事業で蓄積された豊富な製造ノウハウと分析・解析技術を活かして、超微メタル化や不純物フリー化、福井の本社工場に揃える多様なタイプの特殊反応槽や滅菌乾燥装置で多品種少量や、ハンドリングが困難な特殊化学品の受託製造事業も広がっている。企業はR&D（事業継続計画）や材料関連の複数化学製品や特殊ケミカル製品等の受託も意図的に広げている。同社もこの潮流をさらに捉え、可能な限り受託案件の受注増へつなげる。

一方、中東産油で工場稼働の重油や原料調達も、一定影響もあったため工場内の熱源や廃棄物等も可能な限り構内でサーマルを食わずに「サドル」の体制を拡充するほか、事業所の再生可能エネルギー利用率向上へ、正門前に設置した太陽光発電パネルに続き、工場内遊休地へ縦40m×横170m規模の太陽光発電パネルを敷設。合計約2000㎡の発電量となり、事務所電力など一部を除くほか、昨年からは社内ペーパーレス化、さらに人材採用で正式にリサイクル採用制度も開始。非営利とその家族、親戚、知人、友人等が持つネットワークを最大化して、次代へ継ぐ人材確保へつなげている。